

販売名：卓上多本架遠心機 H-40α

【警告】

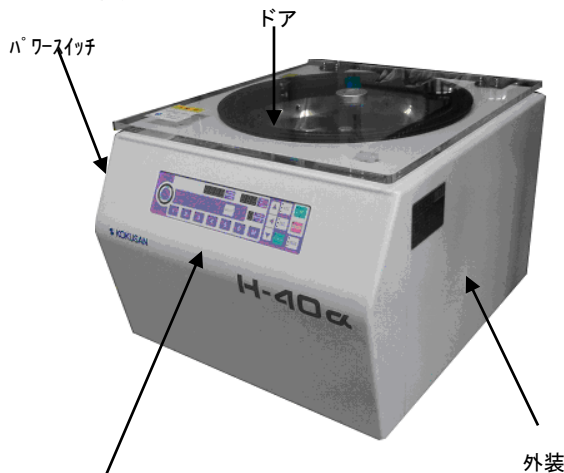
- ・ロータやバケットは最高回転数以下で使用する事。
[ロータやバケットが破損して遠心機が壊れたり人身事故につながる恐れがあります。]
- ・ロータの締めつけネジが緩んでいないかを確認すること。
[締めつけネジが緩んだまま運転するとモーターシャフトからロータが外れて遠心機が壊れたりロータが外に飛び出す恐れがあります。]
- ・回転中に異常振動や異常音が発生したら使用を中止し電源を切ること。

【禁忌・禁止】

- ・本機を凹凸面の床面、弱い床面及び傾斜した床面に設置しないこと。
[防振装置が働かなくなったり、遠心機の破損や事故につながる恐れがあります。]
- ・本機の回転中は移動したり振動を加えたりしないこと。
[防振装置が働かなくなり破損や事故につながる恐れがあります。]
- ・本機の回転中は絶対にドアを開けないこと。
[回転しているロータやバケットに触れると大ケガをする恐れがあります。]
- ・ガス滅菌、オートクレーブ、乾熱滅菌は使用しないこと。

【形状・構造及び原理等】

＜本体形状、名称＞



操作パネル

＜構造＞

電気駆動装置、その一部である垂直シャフト、垂直シャフト上部先端に取り付けられた水平ロータから構成される。

＜原理＞

比重差のある試料、検体を回転により生ずる遠心力で分離する。

＜電気的定格＞

電源： AC100V 1φ 10A 1.0KVA
周波数： 50Hz又は60Hz

＜寸法及び重量＞

幅 525mm 奥行き 645mm 高さ 415mm
重量 約66Kg

【使用目的、効能又は効果】

使用目的：血液、尿の他検体を分析、検査を行うために分離することを目的とする。

効能又は効果：遠心力を利用し検体を比重分離し、後工程の分析、検査の前処理ができる。

一般的名称の定義：遠心力を利用して懸濁液の成分を分離するために用いる汎用検査用遠心機をいう。通常、電気駆動装置、その一部である垂直シャフト、垂直シャフト上部先端に取り付けられた水平ロータから構成される。本装置は体液等の試料を単独か、または分析物の測定前に試薬や他の添加物を添加した後、遠心分離することを目的とする。通常、低速(最高 8000rpm)または中速(最高 15000rpm)の機器である。

【品目仕様】

＜性能＞

最高回転数 : 15000 rpm
最大遠心力 : 16110 ×g
最大容量 : 3200 ml
制御 : 自動
回転計 : 100～15000 rpm
タイマー : 1分～999分 1秒～999秒
モータ : インダクションモータ 600W
加速・減速 : 各3段階＋自然減速

【操作方法又は使用方法等】

設置方法、操作方法について詳細は取扱説明書“準備”、“操作”の項目を参照して下さい。

【使用上の注意】

1. 使用前の作業点検
 - ・本体に付属している取扱説明書を必ず読み、不明な点があれば、取扱説明書で再度確認してから使用すること。
 - ・使用する前は、始業点検を必ず行い、設置状況、スイッチの接続状況、表示ランプ、出力などの点検を行い、正常に動作することを確認してから使用すること。
2. 回転数の設定
 - ・ロータの最高回転数以上では使用しないこと。
3. 試料とチューブのセット
 - ・チューブは点対称の位置にセットすること。
[バランスをとってもチューブが点対称の位置になっていないと、バランスが崩れ異常振動が発生して破損事故の原因となる恐れがある。]
4. ロータとバケットのセット
 - ・バケットはロータに正確にセットする。
[バケットは、ロータのバケットを受ける部分に入っていないと回転中にバケットが外れて遠心機の破損による人身事故の原因になります]
 - ・バケットはすべて架ける。
[バケットはチューブ本数に関わらず、すべてのバケットを架けてください。バケットを架けないで遠心するとアームが広がりバケットが外れて遠心機の破損による人身事故の原因になります。]
5. ドアの取扱い
 - ・回転しているときは、絶対にドアを開けないこと。
[停電や故障したばかりのときは、ロータが回転しています。必ず停止するまで待ってから、ドアを開けて下さい。回転しているロータやバケットに触れると大けがをする恐れがあります。]

取扱説明書を必ずご参照下さい。

【保管方法及び使用期間等】

使用環境条件

温度 15～35 [℃]
湿度 45～75 [%] (結露のないこと)
気圧 860～1060 [hPa]

腐食性ガスが発生しない場所で使用して下さい。
傾斜、振動の無い場所で使用して下さい。

【保守点検に係る事項】

1. 保守点検

- ・本機の使用、保守点検の責任は、使用者側にあります。
- ・保守保管を行うにあたり、点検責任者、点検場所、点検記録、保管場所を決めて正しい運用を心がけること。
- ・保守点検は、本機の取扱い説明書をよく読んで、点検事項の励行、修理依頼の判断をして安全な運用を行うこと。
- ・日常点検・保守は必ず毎日行うこと。
- ・始業点検は、本機を使用する前日、或いは直前に行うこと。
- ・就業点検は、本機使用中に異常がなかった場合は、主に清掃等を中心に行う。

詳細は取扱説明書“保守と点検”を参照して下さい。

2. 修理・故障

機器の異常や故障が発生したときは直ちに使用を中止し、販売代理店又は製造販売元まで下記内容を連絡してください。

- ①お名前・・・・・・・・・・事業者名、担当者名
- ②ご住所・・・・・・・・・・所在地、担当部署
- ③電話番号・・・・・・・・・・担当者の連絡先
- ④製品型式・・・・・・・・・・H-40α
- ⑤ロータ型式・・・・・・・・・・使用しているロータ型式
- ⑥製造番号・・・・・・・・・・本体銘板に表記
- ⑦製造年月日・・・・・・・・・・本体銘板に表記
- ⑧故障の内容・・・・・・・・・・具体的な症状
- ⑨点検表・・・・・・・・・・日頃の点検記録表

3. 廃棄

本機は医療用機器として使用した場合、廃棄物の処理及び清掃に関する法律により特別管理産業廃棄物に該当します。廃棄に当たっては法律に従い適切な処置を行って下さい。

4. 保証

本製品の保証期間は購入日から1年間です。

＜製造販売元連絡先＞

販売元名称 : 株式会社コクサン

東京 〒338-0832 埼玉県さいたま市桜区西堀7-8-16
TEL 048-853-5531
FAX 048-853-7877

大阪 〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島4-13-6
(田井中ビル)
TEL 06-6308-7326
FAX 06-6308-7327

九州 〒802-0005 福岡県北九州市小倉北区堺町2-1-1
(角田ビル小倉902号)
TEL 093-533-1435
FAX 093-533-1436

【包装】

紙製段ボールによる1台毎の梱包

【主要文献及び文献請求先】

株式会社コクサン 東京営業部
埼玉県さいたま市桜区西堀7-8-16
TEL 048-853-5531

【製造販売業者又は製造業者の氏名又は名称及び住所等】

製造販売業者 : 株式会社コクサン 浦和工場
埼玉県さいたま市桜区西堀7-8-16
電話番号 : 048-853-7711

製造業者 : 株式会社コクサン 浦和工場
埼玉県さいたま市桜区西堀7-8-16
電話番号 : 048-853-7711

取扱説明書を必ずご参照下さい。